

「サロンなごみ」ヘルマンハーフ演奏会

平成29年5月26日

ヘルマンハーフは、楽譜が読めなくても手軽に弾ける楽器で、ドイツの農場主ヘルマン・フェー氏がダウン症の息子のために考案しました。深川市内では納内町在住の小滝 愉梅さんが所有し、札幌のヘルマンハーフ愛好家「ハル・モ・ニ」の皆さんと11人で演奏会を開催しました。「野ばら」「グリーンスリーブス」「エーデルワイス」などを演奏し、体験コーナーでは「さくらさくら」を参加者の皆さんが教わりながら弾いてみました。ハーフに合わせて「早春賦」などを歌い優しい音色に癒され楽しいひとときを過ごしました。

